

苦味健胃剤

日本薬局方 ホミカエキス散

日本標準商品分類番号

872337

貯法：室温保存
有効期間：5年

劇薬

ホミカエキス散「ホエイ」

Nux Vomica Extract Powder

承認番号	16000AMZ03802
販売開始	1953年9月

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	ホミカエキス散「ホエイ」
有効成分	1g中 日局 ホミカエキス 100mg 〔ストリキニーネ (C ₂₁ H ₂₂ N ₂ O ₂ : 334.41) 0.61~0.68%を含む〕
添加剤	バレイシヨデンブ

3.2 製剤の性状

販売名	ホミカエキス散「ホエイ」
性状	黄褐色～灰褐色の粉末で、僅かに弱いにおいがあり、味は苦い

4. 効能又は効果

苦味による唾液及び胃液の分泌促進

6. 用法及び用量

通常、成人1回0.2g、1日0.5gを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
精神神経系	痙れん ^{注)}

注) 長期・大量投与でのストリキニーネの蓄積による。

16. 薬物動態

16.2 吸収

本剤の主成分であるストリキニーネは消化管や注射部位から速やかに吸収される。

16.4 代謝

本剤の主成分であるストリキニーネは、主としてミクロソーム系酵素により速やかに代謝される。

16.5 排泄

本剤の主成分であるストリキニーネの約20%は代謝されず尿中にそのまま排泄される。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

エキスを単純胃瘻管造設イヌの胃内に投与するとき胃液分泌にほとんど変化は認められないが、コンズランゴ冷浸エキスを同時に適用するとき胃液分泌は増加し酸度も上昇する。さらにエキス又はチンキを単純胃瘻管造設イヌの口内又は胃内に投与するとき胃液分泌、酸度に変化を与えないし、胃、小腸に恒久性瘻管造設イヌになめさせるか胃内投与するとき、バルーン法で胃運動に著しい変化は認められない。なお、strychnineをヒト、イヌの口内又は胃内に投与すると、ゲンチアナチンキとはほぼ同様の効果があるという。また脊髄において抑制性シナプス後電位を減弱させて痙攣を引き起こすが、グリシン受容体に特異的に結合することが知られている。ペントバルビタールなどで麻酔したイヌに静脈内投与すると血圧上昇と心拍数増加が現れる¹⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ホミカエキス (Nux Vomica Extract)

性状：黄褐色～褐色の粉末で、弱いにおいがあり、味は極めて苦い。

22. 包装

500g [瓶]

23. 主要文献

1) 第十八改正 日本薬局方解説書、廣川書店、2021：D-952-956

24. 文献請求先及び問い合わせ先

ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号
フリーダイヤル 0120-419-043

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

マイランEPD合同会社

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

26.2 販売元

ヴィアトリス製薬株式会社

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号